

健康たからづか21(第2次後期計画)の取組

健康たからづか21(第2次後期計画)では、生活習慣病予防等の健康づくり、歯及び口腔の健康づくり、こころの健康づくりの3つを重点的に取り組む分野として、次世代、成人期、高齢期の各ライフステージに応じて推進します。

また、災害時における健康確保など、健康危機事案への対応についても取り組みます。

がん検診の受診率向上

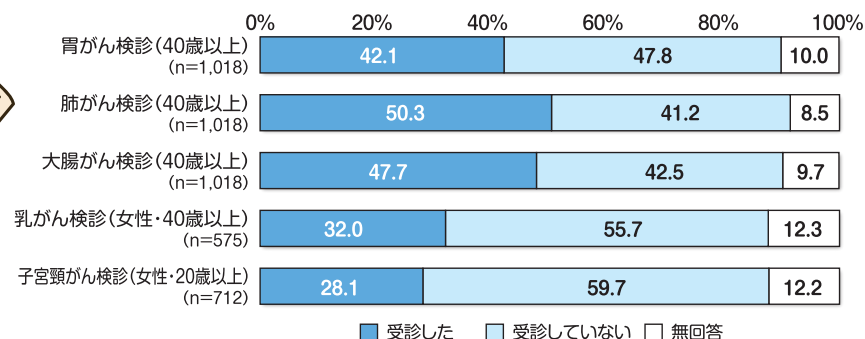
宝塚市の死因の第1位はがんであり、約3人に1人ががんで亡くなっています。

禁煙、節酒、食生活、運動、適正体重の維持等の健康的な生活習慣を取り入れ、がんを予防し、定期的ながん検診を受け、早期発見・早期治療をすることが大切です。

しかし、宝塚市のがん検診の受診率は肺がん検診を除き、国が目標としている50%に達していないため、受診率向上を目指した取り組みが必要です。



1年以内(乳がん検診のみ2年以内)の検診受診状況
(健康たからづか21アンケート調査結果)



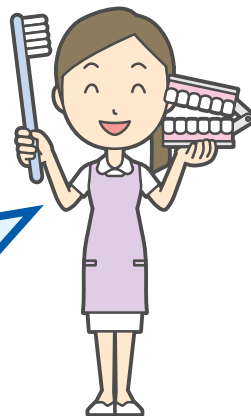
一人一人ができること

➡ 1年に1回、がん検診を受けましょう。(乳がん検診は2年に1回)

歯周病の予防

年齢が上がるにつれて、歯周病の割合が高くなりますが、定期的に歯石除去や歯面清掃を受けている人の割合は56.3%にとどまっており、特に20歳代、30歳代が低い傾向にあります。

口腔の健康は全身の健康につながることから、すべての年代において定期的な歯科健診の受診や正しい食生活の啓発を行うなど、歯周病を予防するための取組が必要です。



定期的に歯石除去や歯面清掃を受けているか
(健康たからづか21アンケート調査結果)

